

「群馬県一大きな笠懸小学校は思いやりも群馬県一」を目指します！

やさしく  
かしく  
たくましく



みどり市立笠懸小学校  
学校だより No.8  
2020.12.4  
<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

## 感染症拡大防止に関するお願い ～ご家族に風邪症状ありの場合は…～

群馬県の警戒度が「3」に上がり、みどり市はおとなも子どもも感染者が増えています。学校では「3密対策」「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い・手指消毒」等の徹底に努めています。現在マスクの着用は定着し、ほぼ全員がマスクをして登校していますし、子ども同士で注意し合う場面もみられます。また、師走に入りだいぶ寒くなりましたが、教室では窓を開けて換気をしながら暖房するようにしています。お子様には、いつもの冬よりも暖かい服装で登校させてください。

なお、警戒度「3」になったことで、ご家族に風邪症状がある場合の登校は控えていただいております。また、検温カードの「同居家族に発熱などの症状」が「有」で登校した場合も早引きとなり、お迎えをお願いしています。感染症拡大防止の観点からご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。



寒いですが、窓を開けて勉強

## 1日限りの美術館 ～子どもたちの目は輝いていました！～

年度当初より計画していましたが、11月20日に何とか開催することができました。感染症拡大の中、これ以上状況が悪化したら開催できないギリギリのタイミングでしたが、おもい・つむぎ財団様と国内トップディーラーの日動コンテンポラリーアート様、タグチ・アートコレクション様、みぞえ画廊様のご協力により、国内外の貴重な美術作品が本校体育館に集められました。

日動コンテンポラリーアート顧問の塩原様は、赤城山大沼湖畔のご出身で、ご実家はレストランや貸ボートなどをされているそうで「群馬の子どもたちのために」と自ら協力に名乗り出てくださったそうです。元々アルペンスキーW杯の日本代表選手として活躍され、日動画廊にお勤めになったことから美術の世界に入られました。現在は世界の芸術家と親交があり、美術界ではたいへん著名な方です。創作活動がアメリカで映画化されたヴィック・ムニズの作品を手配してくだ



VIK MUNIZ PAPER CRANES FOR JAPAN



リネット・イアドム・ボアキエ作

さったのも塩原さんでした。一方、タグチ・アートコレクション様も、各地で展覧会を開催する美術商です。つい先日まで下関市立美術館で展覧会を開催していました。高橋喜代史、ポアキエ、杉戸博、名和晃平などの作品を多数展示してくださいました。また、急遽ご参加いただいたみぞえ画廊様は、ベン・シャーンやジャスパー・ジョーンズ、伊藤若冲などの作品をお持ちくださいました。

学校では、事前指導として、ショートムービーを作成して朝礼の時間に放送しました。内容は、展示予定の作品や作家の紹介、特別展示作品のメイキング映像でした。担任からの報告では、「24時間テレビ」のTシャツのデザインを担当した小松美羽の知名度はやはり相当高かったようです。また、水玉模様で知られる草間彌生なども知っている子が多かったそうです。低学年の子どもたちには難しかったと思いますが、担任からの補足説明により期待が高まった子も少なくなく、「明日



ベン・シャーン作

\*裏面に続きます。

が楽しみです！」「早く見たいです！」と子どもたちが声をかけてくれました。

美術館開催の前日は、午前中から体育館に美術品の搬入が始まりましたが、半立体の作品や動画が必要な作品もあり、結局夜の8時過ぎまで準備に追われ、財団と協力企業の皆さんが作業をしてくださいました。

いよいよ美術館当日、さらに都内から作品が持ち込まれ、会場のセッティングが終わったのは、1校時の



展示された作品群と6年生全員の作品

の作品や映像作品にも人だかりができていました。子どもたちは「何これっ?」「これって、芸術なの?」と言いながら作品に近づき、しばし見入っていました。

昼休みから5校時にかけては、6年生の鑑賞とゲストの鈴木ひよっとこさんとの交流の時間でした。はじめに、美術作品の鑑賞の仕方についてご指導いただきました。「何かしらの心の動きを作り出すのがアート作品の魅力」「鑑賞をする時は、なぜ好きとか嫌いと思ったのか考えてみることも一つ。自分を理解することにもつながる」「作品がつくられた背景を知ると見え方が変わってくる」など貴重なお話をいただきました。その後、6年生が描いた「やまなし」の絵の講評もいただきました。いくつかの作品を挙げて「魚を獲る臨場感がある」「カニが水中にいる様子がうまく描かれている」「全体の統一感がある」「空間の広がりを感じる」「物の質感を意識して描かれている」などたくさんのお褒めのことばをいただきました。

保護者の皆様には、ご不便をおかけしましたが、今回は時間を区切ってご覧いただきました。限られた時間の中でしたが、157名の方々にお越しいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

また、今回の「一日限りの美術館」はPTAからご支援をいただいたことで、これまでに例のない規模（主催者談）で開催することができ、子どもたちの心に感動を与えることができたのではないかと考えています。重ねてお礼申し上げます。

今週になって塩原様から「一日限りの美術館で見たボアキエの作品展がまさに今ロンドンで開催されていることを子どもたちにぜひ伝えて欲しい」と連絡が入りました。ボアキエもまた、世界的に評価されているすごい画家なのだそうです。そんなボアキエの作品が笠小の体育館で展示されていたとは何と素晴らしいことでしょう！

<https://www.tate.org.uk/whats-on/tate-britain/exhibition/lynette-yiadom-boakye> 興味のある方はこちらをどうぞ。

今回は群テレ様、上毛新聞様（シャトル）、桐生タイムス様も取材に訪れました。当日、群馬テレビのニュースで放映された映像は、現在もYouTubeで見ることができます。



ヴィック作品のメイキングビデオ

リングが終わったのは、1校時の2年生が入場する10分前でした。それぞれの学年が密を避けて分散して入場し、その都度財団や協力企業のみなさんが案内係をしてくださいました。「お気に入りの一枚を見つけよう！」を合言葉に、子どもたちは思い思いに作品を鑑賞していました。

子どもたちの人気集中したのは、やはり今回の目玉であるヴィック・ムニーズ作「折り鶴を日本のために」でした。群テレのニュースでも流れていたように塩原様が子どもたちに熱く語りかけていたのがとても印象的でした。続いて、小松美羽や草間彌生の作品なども人気でした。また、半立体



「HELP」の幕を貼るのを助けてもらう映像を上映



光るガラス玉の奥から映像が映し出される作品



### 地域の皆様へ お詫び

今回の「一日限りの美術館」は、本来であれば広く地域の皆様にご案内し、貴重な美術作品をたくさんの方々にご覧いただく予定でした。しかし、現在の感染症拡大の状況により、残念ながらご案内することができませんでした。今後、状況が改善しましたら、行事等のご案内を再開いたします。



奈良美智 (ならよしも)



村上隆 (むらかみ たかし)



